



平成30年6月15日
【第6号】
文責：校長 金子圭一

【13日（木）今年度1回目の火災避難訓練実施しました】

・1回目は新しい教室からの避難経路を確認する訓練です。家庭科室からの火事を想定し、青コースによる避難です。写真は「お・か・し・も」の合い言葉をもとにして訓練のふり返りをしている様子です。自分の「いのち」を大切に活動としてどの学年も真剣に参加することができました。



【8日（金）6年プール掃除】

・好天に恵まれプール掃除を行いました。1年間の汚れよりもアメンボの大量発生に歓声があがっていましたが、すぐに集中して清掃活動に取り組んでいました。もちろんプール開きの初泳ぎは6年生の特権です。



【5日（火）学校支援会議を開催しました】

・「学校支援会議」とは学校・家庭・地域が一体となって「地域ぐるみ」で子どもを育てる体制を整えることを目的に、具体的な目標を共有して情報交換をしたり、協働活動を行ったりする組織です。地域におけるこどもたちの様子（あいさつ、交通安全、地区行事への参加）を聞かせていただきました。今年度は「へんじ」を地域ぐるみで取り組む目標として共有することができました。

子どもたちの行動目標

「あいさつ」「へんじ」「くつならべ」

※地域ぐるみで取り組む行動目標「へんじ」（学校支援会議より）



【ひきつづき、学校支援会議で話題になった内容】

- ・殆ど大きな声であいさつできている。顔を合わせると必ずしている。
- ・交通量が変わっている通学路がある。2～3列で歩いたり、おしとりする子がいる。朝は運転を急いでいる車も多いので事故が心配です。
- ・夏休みなどラジオ体操や地区行事への参加をお願いします。

※お忙しい中に参加いただき、ありがとうございました。

【傘をさすのがめんどくさい？ 雨の日は雨の中を風の日は・・・】

・雨の予報で傘を持参する子が多い中に、雨が降ったらお迎えと決めている子もいるようです。荷物が一つ増え、傘を差して歩くと手がふさがりめんどくさいと感じる場合も多いでしょう。傘を差して歩く時は視界も狭まり風の方向や水たまりなど気を配る事項も増えます。つまり普段より「負荷」がかかるのです。その「負荷」と子どもの「耐性」のバランスを熟知しているのは保護者です。長いスパンで子どもの耐性をどのように育てていくのか、自家用車による送迎が本当に子どものためになるのか熟考願います。学校だより1号でも紹介しましたが、「がまんする心」を身につけさせるのは小学校段階が適しています。つまり、適した時期を逃すと「がまんする心」は身につけにくいということです。「耐性」はいざという時に底力となります。

【再度、こどもたちの安全のために確認させていただきます】

・こどもたちの動線と車の動線が複雑に交差したり、駐車している車によって死角を設けないよう登下校の時間帯については自家用車の乗り入れを原則禁止とし、やむを得ない事情のある場合は注意事項を厳守くださいとしています。その時間帯に自家用車を乗り入れておられる家庭は「やむを得ない事情」があらわれるのだと判断しています。知り合いだから、近所の子どもだからと他の児童を同乗させるのは厳に控えていただくようお願いします。